

事務所通信 リソース

9月号 VOL. 87



安心が私たちの商品です

税理士法人 中央総合会計

■ 旭川事務所 〒070-0037

旭川市7条通13丁目59番地4

TEL : 0166-25-4131

FAX : 0166-25-4132

E-mail : cyuou@csk-i.com

URL : <http://csk-i.com>

■ 北見事務所 〒090-0023

北見市北3条東2丁目14番地

TEL : 0157-24-8866

FAX : 0157-24-6108

E-mail : [cyuou-kitaimi](mailto:cyuou-kitaimi@mocha.ocn.ne.jp)

@mocha.ocn.ne.jp

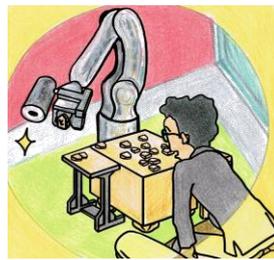


解剖学者の養老孟司氏とノンフィクション作家の高橋秀実氏の対談に「いくら理不尽でも、妻から言われたことに夫が口ごたえすると大変なことになる。結局、聞き流すほうがいい」とありました。決めのセリフは「おっしゃる通りです」。人間をよく知る二人の専門家の意見には説得力がありますね（笑）。

【研究開発税制を活用して競争力の強化を！】

研究開発投資を増やして企業競争力を高めることを目的に、研究開発税制が見直しされました。改正前は「総額型」「増加型」「高水準型」「オープンイノベーション型」の4つに分かれていましたが、その中の「増加型」と「高水準型」は平成二十八年度末までの期限措置でした。改正後は「増加型」が「総額型」に組み込まれ、「高水準型」は適用期限が2年間延長され、「総額型」「高水準型」「オープンイノベーション型」の3つになりました。

「総額型」の税額控除率は、試験研究費の増減に応じて6〜14%（中小法人は12〜17%）に拡充されました。控除限度額も一定の要件を満たした場合、従来の法人税額の25%に0〜10%の上乗せが可能になりましたが、高水準型との選択制となります。ただしどちらの上乗せも2年間の期限措置となります（税額控除率については一定率以上）。また「オープンイノベーション型」は手続きの見直しにより使い勝手の向上が図られています。近年では、IoTやビッグデータ、人工知能などを活用した「第4次産業革命」が進展しています。



これらの技術を活用する新たなビジネス開発を後押しするために、これまでの製造業による「モノ作りの研究開発」に加えて、ビッグデータなどを活用した第4次産業革命型の「サービスの開発」が試験研究費の定義に追加されました。

【未来のノートは「アナログとデジタルのいいとこ取り」】

濡れたタオルで拭いて文字を消し、半永久的に繰り返し使えるノートが米国生まれの「Everlast (エバーラスト)」です。特殊な紙は業界の専門家と共同開発した合成ポリエステルで、スマートフォン専用アプリを使えば自動で読み取り範囲を選択してノート下部の7つの魔法のアイコンによるファイリングで簡単にデジタルノートが完成します。最高の書き心地の後は瞬時にクラウド保存してキレイに消し去る。1冊で大学ノート数百冊分の楽しみが続く未来のノートです。



退職のご挨拶

このたび、吉田信一、広田智恵美、林千恵子の3名が定年となりました。

吉田は再雇用となりますが、広田、林は区切りをつけたいということですが、所長（私）に愛想をつかしたのか定年退職となりました。（涙）

長い間のご指導、ご鞭撻に感謝を申し上げますと共に新任担当者にも変わらぬご厚誼をお願い申し上げます。広田、林は暫くは出勤することもあります、引き継ぎ等でご迷惑をおかけするかもしれません。何か気になることがございましたらご連絡ください。

税理士法人 中央総合会計 代表税理士 井内 敏樹

このたび、7月31日をもちまして、定年退職いたしました。

昭和52年に池田守税理士事務所に入社し32年、池田守先生は平成21年11月にご病気で亡くなりましたが、この年、平成21年1月に法人化した現在の中央総合会計で引き続き8年勤務させていただきました。

40年もの長きにわたり、たくさんの人に出会い本当に楽しく仕事をさせていただきました。失敗して辛かった経験も色々ありましたが、信頼できる上司、思いやりのある同僚、顧問先様のおかげで乗り越えることができました。これまで皆様の公私にわたるご指導に心から感謝しております。

持ち回りで毎日行っていた朝礼で「ありがとうの一言」の発表は、仕事始めをすがすがしいものにしてくれました。これからも、いろいろなことに「ありがとう」を言える人間でありたいと思っています。

そして年をとった両親の世話をしながら。なにより「笑顔」を忘れずにゆったりと日常を過ごしたいと思っています。

皆様には長い間、本当にお世話になりました。

ありがとうございました。

広田 智恵美

私事で恐縮ですがこの度、7月31日をもちまして当事務所を定年退職いたしました。在職中は顧問先の皆様、当事務所の皆様にはひとかたならぬお世話になりありがとうございました。

旧井内会計に入社したのが平成3年11月で、簿記も会計もわからずただただ強気で面接に臨んだ私を採用していただき、また定年まで勤務できたことに所長及び皆様には本当に感謝しております。

入社してからは簿記とは何？会計とは何？所長をはじめ諸先輩方々、お客様が何を話しているのか、どういう意味なのか理解するのに必死だったような気がします。

皆様に教わりながら、又通信教育等を受けながら、だんだん理解してくるとやりがいのある仕事になってきました。今思えば、当事務所に入社していなければ勉強する事も、どういう意味なのかと調べる事も、又皆様に安心を与えられる存在になるにはどのようにしたらいいのか等、考えることもなかったのではないかと思います。

中央総合会計となり、仲間が増え、若い人達も増え、いつの間にかベテランと呼ばれるようになり25年がたってしまいました。在職中には職場の仲間たちと陸上部らしからぬ歩き会、スカッシュ、ボーリング等現在では週一でヨガの先生に來所していただき心地よい汗を流したり、充実した環境の中で仕事をさせていただきました。

退職後は当事務所での経験等を活かし、肩肘はらずにこれからの人生を送っていきたいと思っています。

最後に皆様のご健勝とご活躍を、そして中央総合会計の益々のご発展をお祈り申し上げ、お礼の挨拶とさせていただきます。

長い間、お世話になりました。ありがとうございました。

林 千恵子